西高ものしりMAP

［原画制作］西高3年6組
美術部　吉田真梨子さん

NISHIKOU MONOSHIRI MAP

北海道札幌西高等学校

2014 大好き！西高

http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp

在校生座談会
大好き! 西高2014!!

西高って楽しい? それとも大変?
外から見ただけではわからない、
西高の「いま」をこっそり
皆さんに教えちゃいます。

森雄人君
(モリユウト)
3年1組
(陵北中学出身)
オーケストラ部
部長

松本隆之介君
(マツモトリュウノスケ)
3年2組
(澄川中学出身)
男子ハンドボール部
部長

宮永圭吾君
(ミヤナガケイゴ)
3年2組
(山鼻中学出身)
前生徒会長
現放送局員

高橋彩奈さん
(タカハシアヤナ)
2年5組
(陵北中学出身)
現生徒会長
ダンス同好会

西高ってどんな学校?
「現役西高生、ここだけのぶっちゃけトーク!」

入ってびっくりの高校生活、いちばんの想い出は?

宮永:なんといっても西高祭。昨年までは生徒会として、今年は放送局として、さらなる裏方を極めました。僕自身表に出るより裏方に従事する方が合っていた。「学校祭楽しかったよ」と泣いてくれた先輩に感動しました。

高橋:運動会が印象的ですね。初めての生徒行事で、2年生と3年生のコスチュームに驚きました。特攻服やMr.インクレディブルなどがいて、各クラスのカラーが出てるなと思いました。

松本:高校生活を2年間と半年のほとんどを部活に捧げてきましたから、やっぱりハンドボール。同じ目標に向かって、日々練習をともにする仲間たちが一番の宝です。友人や、部活の先輩、OG、OB、先生方、応援してくださる方々に支えられ今のチームと自分があると思っています。僕はもう引退したけれど、

卒業までに後輩たちに何かモチベーションにつながるようなことを残してやりたいと思っています。

森:運動会、学校祭と西高の真髄を味わいました。怒濤のごとく過ぎて行く日々の中で、オーケストラ部としても無我夢中で練習し、定期演奏会で最高の演奏ができるよう努力してきましたね。この一瞬が思い出、というより高校生活そのものが思い出になっています。

西高の勉強は大変? 勉強のコツ、アドバイスして。

宮永:学校指定の問題集を2、3回解き、理解する。それからちょっと難しめの問題集で演習。高校入ったら…とか3年になったら…とかって固くならず、いつも通りでいいと思う。ただ、予習復習はしっかりするべき。たまに授業に数分遅れてくる先生はありがたい(笑)。小テスト前は特に思う。テスト前の自習時間はもうちょっとほしい。

高橋:正直テストが多いのはつらい。英単語テストは週に一回。勉強せざるをえません。追試も盛りだくさんだから普段の家庭学習が欠かせません。授業中音楽を流す先生がいたり、とにかく個性的な先生がいっぱい。生徒と仲のいいのも西高の特徴ですね。授業はみんなまじめで、積極的です。でもいい雰囲気の中で行われています。

松本:部活がある間は、朝早く登校したり、すき間時間を使って小テストや中テストの勉強をしました。西高のそういったテストは、先生方が作る良い問題ばかりなので信頼できます。西高は先生との会話から羅針盤セミナー(西高OB・OGによる進路講話)などの行事にいたるまで、将来につながる良いモチベーションとなる材料がたくさんあり、周りの仲間と刺激を与え合うとてもよい環境だと思います。

森:中学校のころと比べて確実に勉強の量は増えていると思う。しかも量だけでなく中身も難しくなっている。西高の授業、とくに数学は進むのも早く、ついていくのが大変で、単元ごとにある小テストには追試がエンドレスにあって、ちょっぴり怖い。でも、それが良いペースメーカーとなっていて、確実に力がつきます。

「やることはやる。やるときはやる。やれるだけやる。」西高実行精神の集大成、西高祭はどんな感じ?

宮永:西高祭の思い出といっても、裏方作業しかない(笑)。生徒会と放送と運営に携わるところで、違う目線での学校祭を楽しめた。西高祭の熱気を肌で感じて、改めて西高の素晴らしさを感じた。実行精神は、僕みたいな適当な人間に合った言葉です。考えた人に敬意を表します。

高橋:生徒会として西高祭に参加できて本当に良かったです。中学校の時とは違い、生徒会が企画運営して、生徒たちで作っていくことに、大きな達成感を感じました。西高実行精神に基づいて、本気で学校祭に取り組む姿は圧巻です。私はダンス同好会と兼部していて、全校生徒の前で、スポットライトを浴びながらみんなで踊ったのも、良い思い出になっています。

松本:西高祭は本当に盛り上がります。本当に最初から最後まで華やかで、僕が中三の時に初めて来たときの衝撃は今でも覚えています。本当に地域の方々がたくさん来てくれて、多くのちびっ子たちも楽しんで行ってくれます。クライマックスの花火は全西高生が大好き。男同士で見るHANA-BI、それもまた一つの西高スタイル(笑)。

森:1年生で初めて西高祭を体験した時は、圧倒されました。行灯、展示、垂れ幕にかける西高生のエネルギー、特に上級生のそれはすさまじく、行灯の完成度は素晴らしい。何より、西高祭を楽しもうとする雰囲気が西高全体にあって、非常に盛り上がる。高校生活で3度経験する西高祭は、そのどれもが忘れられないものとなると思う。

自由な校風、熱心な部活動、西高ならではの雰囲気を教えて。

宮永:自由といっても、何でもやっていいとは限らない。高校生として、そして西高生としての自覚をもって考えて行動しなきゃいけないと思う。そして好きなことも、やらなきゃいけないこともある。

高橋:「私服」これが一番の自由の象徴だと思います。校則も少なく、みんなのびのびとしています。多くの部活や同好会があることも西高の自由さの現れ。生徒のほとんどが部活や同好会に加入しています。私はダンス同好会ですが、西高祭、秋にある発表会のために練習しています。仲良く一生懸命なのが取り柄です。

松本:自由な校風をフル活用して、生徒一人ひとりが自分自身のスタイルを持っています。でも、マナーと限度をちゃんとわかってるところが西高生なのです。部活もそれぞれ個性豊かで、校風が出ています。実は西高の部活はとても熱く、強い部活だってあるんです。高体連が近くなると、廊下ですれ違うたびに先生から激励され、校内は高体連一色になります。

森:西高は制服もなく「自由」な学校であるといわれるけど、それは前提があってこそだと思う。守るべき領域はきちっと守ったうえで楽しみ、学校祭が終わった後はすぐに切り替えられる。そこを踏まえたうえで、「自由」を楽しんでいる。そんな「自由」な環境の中で部活動を行い、仲間と共に過ごせるのは刺激的で楽しい。

西高を目指す人たちに、熱い激励のメッセージを!!

宮永:僕は先輩に「楽しいよ」と勧められて西高を受験しました。本当に良かったと思っています。西高というのは、各中学校の上位層の生徒が集まる学校です。個性が豊かです。

自分を磨くという点では非常にこの学校はいいと思う。この学校にいることを誇りに思います。

高橋:たくさんの行事、自由な校風、面白い先生方、そしてレベルの高い授業。西高にきたら自分のやりたいこと、夢が必ず見つかると思います。最高の「西春」が送れること間違いなし。広い校舎でのびのびと高校生活を楽しみませんか。

松本:僕が西高で一番すばらしいと感じることは、卒業した先輩方の活躍が見えるという点です。行事一つにしても生徒だけではなく、同窓生も一緒になって盛り上がる姿を見て、西高への愛を感じます。この西高の良き伝統は、世代を通じて現役の高校生活をより華やかにしています。

森:中学とくらべてはるかに自由で、刺激的な高校。行事や部活にはもちろん、勉強にも、楽しみを見いだすことができると思う。さらに、中学では味わえなかったような個性を持つ仲間たちとも出会える。僕自身中学よりも話しが合う友達が増えた。楽しみながら最高の3年間を送ることができると思います。

先生と僕たちを結ぶ、信頼の絆「やることはやる」

時に鬼、時には仏、先生の情熱が僕たちを熱くする!

SSH情報科学の授業
三角山巡検で、山の成り立ちについての学習の様子

前川 洋 校長

時代の変化に応え「進化する伝統校」

本校は、創立101年目を迎える道内屈指の伝統校です。伝統校には、長い歳月をかけて築き上げてきた校風があります。本校においても、校訓「自由、自律、叡智、創造」や西高実行精神「やることはやる、やるときはやる、やれるだけやる」で表わされる校風が、先輩から後輩へと脈々と受け継がれています。流行に流されることなく、これらを受け継いでいくことが本校の教育の神髄であります。

しかし、伝統校として、生徒・保護者・地域等の期待に応える学校であり続けるためには、時代の変化や地域のニーズを的確に捉え、教育活動の改善・充実に取り組むことが重要と考えます。本校では、昨年度から、文部科学省の研究指定校「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、先進的な理数教育の推進により、先端技術や科学への理解を深めさせることをはじめ、将来の国際的な科学技術系の人材を育成することに取り組んでいます。著名な芸術家や文化人を多数輩出してきた校風を堅持しつつ、このように、時代の変化に応え「進化する伝統校」として、教育内容を日々充実させています。

高校受験を控えている中学生の皆さんには、新たな世紀のページを飾る一員として、是非、西高を選択していただきたいと思います。

国語

国語力アップで多面的な能力養成を

秋田 隆之 先生

国語は、様々なジャンルの文章をとおして、自分の思ったことや考えたことを自在に表現する豊かな表現力や言語能力、そして豊かな感受性を培うことが目的です。そのために、いろいろな文章を正しく読む能力、それをもとに様々な考えをめぐらす能力を育てていきます。そのような多機能の力を育てることは、英語・数学など他の全ての教科の理解・発展にもつながります。ただ漫然とではなく、積極的に興味を持って文章に向かう質の高い高校生を目指し、共に授業に臨みましょう。

芸術

目標は自己表現

授業を担当していて感じるのは、音楽・美術・書道それぞれに高い技術を持った人、他を認め尊重できる人、感じる力の強い人がたくさんいることです。ですから授業には活力があります。私が担当する書道の最終目標は『自己表現』。毛筆で書かれた字句に表情が付いたり、詩歌に感情が込められたら最高です。自己表現の手段は色々ありますが、その一つを音楽・美術・書道の時間で見つけてほしいと願っています。

本間 勲 先生

英語

英語を通じて自分の世界を広げよう

武田 聡子 先生

グローバル化が進む現在、自分とは異なる価値観を持った人々と関わることは避けて通れません。これから社会で活躍する皆さんにとって、相手が日本人かそうでないかに関わらず、他者と協同しようとする姿勢はますます大切です。特に、英語は多様な価値観や文化、考えを知るための道具であり、自分の意見を発信するための道具として世界中で使われています。英語を通して未知の世界について知り、考えを深め、自分の意見を表現してみませんか。

地歴 公民

21世紀を生きるために

高校で学ぶ地歴公民科には日本史・世界史・地理・倫理・政治経済という5つの科目があります。地球という一つの共同体で、21世紀という時代を生きる私たちは、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな課題に直面しています。地理歴史科の授業を通して、その歴史的背景を考察したり、地理的な視点から問題を捉え直したり、哲学的に思索したりしながら、現代社会の諸課題について一緒に考えていきましょう。

佐野 祐子 先生

理科

自然界の理を知ろう

櫻井 健一 先生

われわれ人類は何万年か前に、ただ生きている状態から自ら考えるようになり、太陽や星の動き、生・老・病・死などの自然界の理(ことわり)を解き明かそうとしてきました。そして、今、自然界の理の一部は解明されました。高校の理科は自然界の理を本格的に学ぶ場であり科学技術の発展に寄与できる基礎をつくる場でもあります。皆さんが西高で人類が解き明かした自然界の理を出来るだけたくさん知ってくれることを望んでいます。

保健 体育

健康という財産を

生活習慣が健康に与える影響が大きな現代社会では、スポーツの持つ意義が趣味や余暇から健康を創りあげるものに変わってきています。運動が好き嫌い・得意不得意にとらわれず様々な角度からスポーツを生活の中に取り入れていくことが健康という「財産」につながります。授業をとおして新しい技術を身に付けたり、友達と協力して頑張ったり、仲間の応援をしたりと様々な授業の場面でスポーツへの関わり方や楽しみを感じてほしいです。

寺岡 努 先生

数学

数学の素晴らしさを学んでみませんか

現代医療の重要な考え方のひとつに「科学的根拠に基づく医療(EBM)」というものがあります。この根拠を「科学的」にしているのが統計学という数学です。高校で習う「確率」、「微分積分」、「関数」などがその基礎となっています。数学は医療だけではなく、教育、経済、心理学、最近では政治学にも使われています。数学を使いこなせると世界が広がります。西高で数学の素晴らしさを学び、世界に大きく羽ばたいてみませんか。

大塚 崇 先生

家庭

あなたの夢の実現を支えます!!

自分の夢に向かって西高を選んだ皆さんの夢を実現するための「生活」について学びます。
西高で出会った志高い仲間と共に学ぶことで、少しずつ自分のライフスタイルを築いていけるはずです。「今の生活に興味をもつこと」や「社会の中で生活する視点をもつこと」を意識しながら、被服や食物の実験・実習やその他の領域に関する作業活動(設計図、コミュニケーション活動等)を通して楽しく学習していきます。

伊藤 友美 先生

情報

「情報化社会に対応する力を!」

私たちは、大量の情報が絶え間なく生産・蓄積・伝播されている"情報化社会"の中で生活しています。ここ数年のインターネットや携帯電話の一般社会への急激な普及により"情報"への依存度はきわめて高くなっています。このような社会の中で生き抜くためには"情報"について、その信憑性を正しく判断し活用できる能力が必要です。西高での普通教科情報では、指定を受けているSSH事業も取り入れることで、様々な角度から"情報活用能力"の習得を目指し学習します。

森田 泰史 先生

だから負けない!西高魂「やれるだけやる」

大学合格はハードルの一つ、その先の未来を描こう!

平成25年度入試【大学合格者数】北大に115名合格　東大1名、京大7名、医学部11名合格

国公立大学 243名（うち現役148名）

北海道大学	115(77)	東京大学	1(1)
北海道教育大学	13(10)	東京外語大学	2(2)
小樽商科大学	25(16)	東京工業大学	1(1)
室蘭工業大学	5(3)	東京芸術大学	1(0)
帯広畜産大学	2(1)	一橋大学	2(1)
旭川医科大学	3(2)	横浜国立大学	3(1)
札幌医科大学（医学）	5(1)	名古屋大学	1(0)
札幌医科大学（保医）	7(5)	京都大学	7(6)
弘前大学	6(4)	大阪大学	7(4)
東北大学	10(2)	神戸大学	1(0)
筑波大学	3(2)	首都大学東京	1(1)
埼玉大学	3(0)		など

私立大学 335名（うち現役129名）

藤女子大学	12(12)	津田塾大学	3(1)
北星学園大学	14(11)	中央大学	27(7)
北海学園大学	23(12)	東京農業大学	4(0)
北海道医療大学	25(7)	東京理科大学	32(5)
北海道薬科大学	10(8)	日本大学	6(1)
酪農学園大学	5(3)	法政大学	22(8)
天使大学	7(3)	明治大学	31(10)
青山学院大学	1(0)	立教大学	7(1)
上智大学	8(2)	早稲田大学	17(6)
慶応大学	7(3)	同志社大学	5(3)
芝浦工業大学	5(2)	立命館大学	8(2)
日本女子大学	1(0)		など

※（　）内は現役合格者数

北海道大学　法学部1年生
土屋　早希さん（手稲中出身）

「大好き西高!」

西高ではテニス部に所属していました。全道大会や全国大会など部活での思い出は数えきれないほどあります。三年間一緒に頑張った仲間は、かけがえのない宝物です。

西高の魅力は何と言ってもたくさんの行事です。行事は西高が1番と胸を張って言えます。私は3年生の西高祭に全力を注ぎました。みんなで1つのものを作り上げ、最後に最優秀賞をもらった時は泣いてしまいました。

部活に行事にと楽しいことが盛りだくさんですが、もちろんきちんと勉強もしています。西高生は、「やるときはやる」のです。親身に相談に乗ってくれる先生方や、お互いに切磋琢磨しながら勉強した友達のおかげで、勉強も部活も頑張ることができました。

私は大学でもテニス部に入り、部活と勉強に追われながらも充実した日々を送っています。北大では西高出身者によく会いますが、西高の思い出話で盛り上がることもしばしばあります。卒業して改めて西高生で良かったと実感しています。

東京大学　文科三類1年生
安宅　未来さん（発寒中出身）

「西高生活を振り返って」

高校生活を振り返ると、楽しかったのはやはり学校行事の数々です。西高独自のものから勝手に生徒が仮装して登校するハロウィーンなど、自由な西高だからこそ起き得たイベントがたくさんありました。

そして、私は3年間オーケストラ部でヴィオラに熱中していました。オケの練習は運動部並みに忙しいものでしたが、逆に生活にメリハリがつき、時間を管理する力や勉強のモチベーションにも繋がりました。

大学生になった今、朝早くから夜遅くまで自習室や音楽室を開放してくださったり、いつでも生徒の質問や相談にのってくださる先生方のいる西高はとても恵まれた環境だったと思います。そして、勉強ばかりでなく、行事や部活も盛んな西高で過ごした高校時代はかけがえのない3年間でした。同時に、私にとって西高は東大に行くきっかけをくれ、自分の可能性を広げてくれた存在です。そんな母校に来るべき新入生の皆さんが、有意義な高校生活を送ってくださることを願っています。

大阪大学　工学部1年生
橋本　雄大さん（発寒中出身）

「大学で友達はできない」

あ、タイトルは皆さんの目を引くために付けたので気にしないでください。

まず皆さんにわかってほしいこと、それは、クラス・教室という空間のありがたさです。大学では、自分の教室というものがありません。クラスという括りはあれど、クラス単位で何かをすることはほぼありません。しかし、西高にはそれがあるではありませんか。

私が皆さんに伝えたいことはただ1つ、「友達を作って下さい。親友と呼べる仲間を作って下さい。」西高には、そのチャンスが山ほどあります。西高祭で、仲間と一つの作品を創り上げてください。修学旅行で、仲間とはしゃいで下さい。日常を大切にして下さい。高校時代にできた親友は、一生の宝になります。

なんか大学に悪いイメージがつきそうなので補足します。大学はとても楽しいです。授業は選べる、サークルはいっぱい、一人暮らしならやりたい放題です。皆さん、今を楽しみつつ、未来に繋がる西高生活を送ってください。

西高の先輩達! さまざまな分野で活躍!

（敬称略）

佐藤忠良作「蒼穹」

坂本　直行（二中8期）（画家）
本郷　　新（二中8期）（彫刻家）
山内　壮夫（二中9期）（彫刻家）
佐藤　忠良（二中14期）（彫刻家）
伊福部　昭（二中15期）（作曲家・「ゴジラ」の曲を作曲）
船山　　馨（二中15期）（作家）
本田　明二（二中21期）（彫刻家）
高橋揆一郎（二中夜1期）（作家）
品田　雄吉（二中32期）（映画評論家・多摩美術大学名誉教授）
森本　正夫（1期）（経済学者・北海学園理事長）
内山　　斉（3期）（元読売新聞グループ本社代表取締役社長）
李　　恢成（5期）（小説家）
蛇川　忠暉（7期）（トヨタ自動車顧問・日野自動車特認顧問）
長瀬　　清（7期）（北海道医師会会長）
川村　　隆（8期）（日立製作所会長）
大和田榮治（9期）（薬学者・元北海道薬科大学学長）
山内　亮史（10期）（教育社会学者・旭川大学学長）
横路　孝弘（10期）（元衆議院議長・元北海道知事）
新川　詔夫（11期）（北海道医療大学学長）
上出　洋介（12期）（オーロラ研究家・名古屋大学名誉教授）
長沼　　修（12期）（（株）札幌ドーム代表取締役社長）
三部安紀子（12期）（声楽家・北海道二期会理事長）
長沼　昭夫（16期）（洋菓子きのとや代表取締役社長）
中田　昌樹（20期）（指揮者）
石丸修太郎（23期）（北海道税理士会会長）
成毛　　眞（24期）（元日本マイクロソフト社長）
田中　裕子（25期）（女優）
有末　真哉（26期）（三井生命保険（株）代表取締役社長）
谷村　志穂（31期）（作家）
水口　哲也（34期）（ゲームクリエーター）

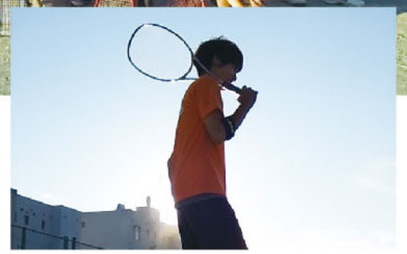
熱中できるものがあるから、西高生活は 何倍も楽しい。

やりたいこと見つけ、とことん自分と仲間と向き合う。
西高生だからできる、きっと将来の糧になる。

ソフトテニス

クローズアップ2013

'09 新人戦男子ダブルス個人
(札幌支部ベスト32)全道大会出場
'10 高体連女子ダブルス個人
(札幌支部ベスト32)全道大会出場
'11 新人戦女子シングルス個人
(札幌支部ベスト32)全道大会出場



部長よりひとこと 佐藤 大吾君(2年2組)

「ソフトテニス?そんなの中学で終わりだ」
「やるなら軟式じゃなくて硬式だろ」
「どうせ高校から始めても無理…」

否!!

ソフトテニス、高校でも極めればいい!
ソフトテニス、硬式とは違う面白さ!
ソフトテニス、先輩が全部教えてくれる!
あなたの入部、待ってます。

バスケットボール

[男子]
'11 札幌地区春季大会6位
'12 高体連札幌支部予選ベスト16
'12 選抜優勝大会札幌地区予選ベスト8
[女子]
'07 高体連札幌支部大会3回戦進出(ベスト16)
'09 秋季新人戦ベスト16
'11 選抜大会札幌地区予選4回戦進出(ベスト12)
'12 春季大会予選リーグ1位・決勝トーナメント進出
中学校からの経験者が多いですが、高校からバスケットを始めた初心者も一緒に「やるときはやる」で頑張っています。

バレーボール

[男子]
'10 選手権札幌地区ベスト4、春高全道大会出場 新人大会ベスト8
'11 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16) 春季大会決勝トーナメント進出
'11 選手権札幌地区ベスト6、春高全道大会ベスト16
'12 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16) 春季大会決勝トーナメント(ベスト16)
'13 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16)
[女子]
'10 高体連決勝トーナメントに進出 2回戦で優勝校大谷に敗退
'11 高体連・春季大会共に決勝トーナメント進出
'12 高体連決勝トーナメントに進出 2回戦で優勝校山の手に敗退
'13 高体連ブロック予選敗退

バドミントン

[男子]
'10 高体連札幌支部大会ベスト8
'13 高体連札幌支部個人戦 ダブルスベスト16
'13 高体連札幌支部個人戦 シングルスベスト32
'13 秋季団体戦西ブロック2部
[女子]
'11 春季団体戦西ブロック第4部
'12 春季団体戦西ブロック第4部
'12 春季個人戦西ブロック ダブルス3回戦敗退
'12 高体連札幌支部個人戦 シングルス2回戦敗退
'12 高体連札幌支部個人戦 ダブルス2回戦敗退

卓　球

'11 春季大会団体戦女子ベスト8
'11 高体連地区大会団体戦女子ベスト16
'13 春季大会団体戦男子ベスト32
'13 国体札幌地区予選個人代表

柔　道

技の反復と基礎体力の養成を練習の狙いとしています。

平成24年度 春季大会 3−7 田中60キロ級 一回戦敗退
3−7 長沼82キロ級 一回戦敗退
高体連 3−7 田中60キロ級 二回戦敗退
3−7 長沼82キロ級 二回戦敗退

テニス

[男子]
'11 高体連支部大会団体7位
'11 新人戦全道大会出場
'12 高体連支部大会団体6位 シングルスベスト16 ダブルスベスト8
'12 高体連全道大会団体ベスト8
'13 高体連支部大会団体7位 シングルスベスト16 ダブルスベスト16
[女子]
'08 全国選抜高校テニス大会出場
'09 高体連全道大会3位 新人戦全道大会ベスト16
'10 高体連全道大会準優勝 新人戦全道大会準優勝
'11 全国選抜高校テニス大会ベスト32
'11 高体連全道大会準優勝 新人戦全道大会3位
'12 高体連全道大会3位 新人戦全道大会3位
'02、'08、'10、'11全国大会(インターハイ、国体等)出場。

野　球

'09 秋季大会ブロック準決勝進出、代表校札第一に惜敗
'10 夏季ブロック準決勝進出 恵庭南に惜敗
'11 夏季大会ブロック2回戦 琴似工に惜敗
夏期は実践練習と練習試合。冬期はウェイトトレーニング(トレーナーによる指導)と基礎体力作り、栄養指導(管理栄養士による)など。

サッカー

'09 U17新人大会 全道大会出場
'10 全国高校サッカー選手権大会全道大会出場(ベスト16)
'11 高体連 全道大会出場
'13 高体連札幌支部ベスト8
他に、プリンス札幌ブロックリーグ、ユース大会に参加し、好成績を修めています。

ハンドボール

'08 埼玉インターハイ出場(女子)
'09 全国選抜大会出場(男子)
'10 千葉国体出場(男子)
全道大会・全国大会を目指し、日々トレーニングをしています。素人集団ですが道外遠征などを通して実力を養っています。

スキー

'09 全国ジュニアスキークロス選手権大会優勝
'10〜'12 インターハイ出場(クロカン)
'11 同上(アルペン)
他にモーグル、基礎スキーの部員も在籍している。
夏にはロードワーク、筋トレ中心の練習。

剣　道

全道大会出場を目標に、日々稽古に励み、大会では気迫あふれる試合を心掛けています。昨年度は新人戦で全道大会に出場しました。高校から剣道を始めた部員も段を取得するなど、主将を中心に仲良く一生懸命に練習に励んでいます。部訓「気迫・機転・希望」

弓　道

'10 北海道選手権大会(釧路市) 男子の部 個人準優勝 インターハイ進出
'10 全国高校弓道選抜大会 女子の部 出場権獲得
'11 春季大会 個人戦女子優勝
'11 札幌支部高等学校弓道大会 女子2位
'13 北海道選手権大会(美唄市) 男子団体の部 ベスト8

水　泳

'08以降、6年連続個人種目でインターハイ出場('10は男子メドレーリレーも)。
また、大会出場組とは別に、健康・体力向上のために西高プールで泳ぐ部員もいます。

陸上競技

'10 新人戦全道大会男子3000mSC12位
'11 新人戦全道大会男子砲丸投10位 男子円盤投出場
'12 高体連全道大会 男子砲丸投 男子円盤投出場
'13 高体連全道大会 男子砲丸投12位
800m・400mH 準決勝進出

山　岳

'09 札幌支部登山選手権大会女子最優秀(1位)男子優秀(3位)
'12 マレーシアのキナバル山(4095m)へ遠征
(1・2年 女子3名、男子4名)
'13 女子 全道登山選手権大会参加
平日はランニング等による体力アップ、装備の取扱練習、休日は近隣での登山等の練習。

生徒会執行部

西高の伝統である運動会や西高祭などの企画・運営を行っています。本校の校訓「自由・自律・叡智・創造」を生徒がなるべく実践できるよう行事を企画し、準備においてもこの校訓が実践できるように活動しています。

放送局

高文連放送発表大会参加(年2回)。校内放送。学校行事(学校祭、運動会、入学式、卒業式等)で放送機器のセッティング。学校の活動を陰から支えています。

図書局

西高祭伝統の古本市開催、図書館報の発行、開館時の貸出・返却業務、生徒用図書の選書、生徒への読書の啓発活動など、局員は毎日活動しています。

新聞局

「札幌西高新聞」を発行します。基本理念として、
①生徒の「知る権利」を代行して責任ある報道を行う。
②学校の歴史と生徒の活動を記録する。
③学校をよりよくしていくための問題提起や解決策提案を心がける。
の三点を掲げています。

化　学

北海道大学大学院と連携して、光触媒や海洋由来バイオマスの研究に取り組んでいます。西高祭や科学の祭典では化学実験ブースを出したり、昨年度は科学の甲子園で全国大会に出場しました。毎日放課後活動中です!

華　道

いけ花池坊を週1回、技芸講師の方に教わっています。
1・2年生は「自由花」を、3年生は「生花」の生け方を習います。池坊のお免状がとれます。

茶　道

講師の先生の指導のもと、お点前のお稽古をしています。西高祭のお茶会には大勢のお客様が来てくださり、長蛇の列ができる人気ぶりです。
本格的な作法室も、一見の価値あり。卒業までには裏千家の初級の許状がいただけます。

書　道

高文連と全道学校書道展、北海道学生書道展覧会の二つの公募展を中心に活動。先輩には文部科学大臣賞や北海道知事賞などの受賞者も。夏休み6校合同定山渓合宿も恒例。
'12 全国高等学校総合文化祭富山大会参加

美　術

'12 高文連全道大会全道入選9名 全道優秀賞5名
'12 学生美術全道展出品 入選13名
'12 U-21道展出品 入選13名 北海道美術館協力会賞1名
HTB賞1名 優秀賞1名 奨励賞2名

写　真

最近は、デジタル写真中心で活動中。一方でモノクロ写真(暗室で現像・焼き付け)に取り組む人もいます。写真甲子園出品、西高祭で写真展、高文連写真展、学生写真道展と、1年を通して活動しています。

合　唱

音楽を楽しむをモットーに、自分たちの好きな曲をアカペラにアレンジして歌っています。新入生歓迎会と西高祭、クリスマスコンサートでの発表の他、定期的にアトリウムコンサートを行ったりしています。

軽音楽

西高祭での演奏や輔仁会館等でライブ活動を行っています。

オーケストラ

'12 全道高等学校音楽発表大会出場(最優秀賞受賞)
'13 全国高等学校総合文化祭出場
入学式、卒業式、高文連主催の演奏会、西高祭でのコンサートとレストランの出店、夏季合宿、定期演奏会、昼休みコンサート、校外における演奏活動。
'13.7月現在、弦楽器57名、管楽器29名、打楽器3名、計89名。

演　劇

'08 高文連全道演劇発表大会優良賞
'11 高文連石狩支部演劇発表大会優秀賞
'12 高文連石狩支部演劇発表大会優秀賞
新入生歓迎公演、学校祭公演、学外公演、ワークショップへの参加など。3年+OB・OGによる活動も(亀吉社中)

邦　楽

琴、三絃、尺八などの和楽器による合奏が活動の中心です。2006年から2013年まで8年連続で全道大会に出場しています。新入部員の大部分は初心者なので、誰でも安心して入部できます。

クローズアップ2013

鉄道研究

年に4回程汽車旅を中心とした合宿と野外活動を実施しています。特に鉄道に興味のある部員は各自で知識を深めたり、個人的に旅をしています。
'12 江差線や北東北への合宿。
'13 美唄・追分方面での野外活動。

部長よりひとこと 江口 航平君(2年5組)

鉄道研究部の主な活動は年4回程の旅です。ここでいう「旅」の目的は列車に乗ることで、各駅停車での移動が中心となります。効率よく観光地を巡る旅が主流の現代においてこのような経験は貴重であり、ゆる〜い旅こそ鉄研最大の魅力です。昨年の活動は、2回の日帰り旅行で学園都市線とSLニセコ号に乗車した他、夏は廃止が決まった江差線を1泊2日で訪れました。冬は夜行急行を利用して北東北のローカル線を巡った他、今年の春はお花見を兼ね、美唄・追分方面を旅しました。
その他鉄分の濃い部員は各自で活動していますが、そうではない部員も多数います。
まだ見ぬ土地へ行ってみたい方、私達と共に、遥かな町まで楽しい旅の夢を見ましょう。

パソコン研究

パソコンの技術向上を目的としています。
'06、'07 西高祭オープニングCG作成。
'08 学校見学会案内図作成。'10〜'12西高祭展示。

囲碁・将棋

週2〜3回練習対局をおこなっています。
'08 全道高校囲碁選手権大会にて男子団体戦3位
'11 全道高校囲碁選手権大会にて女子個人戦準優勝

マンガ・イラスト

主な活動は校内での部誌の配布や展示。マンガ甲子園にも参加しています。

文　芸

'10 高文連全道大会・小説 最優秀賞1名、入選1名('11総文祭へ推薦)
・短歌 最優秀賞1名
'11 高文連全道大会・詩 最優秀賞1名
'12 高文連全道大会・小説 入選1名('13北海道・東北大会へ推薦)
・詩 優秀賞1名('13総文祭へ推薦)

物理研究

「全国物理コンテスト物理チャレンジ2010」で銅賞1名(国際物理学オリンピック日本代表候補になる)、「科学研究活動奨励賞」受賞、「日本物理学会第7回Jr.セッション」で優秀賞、「高文連全道理科研究発表大会」で優秀ポスター賞・昨年は総合賞

Dance同好会

踊りの創作活動を通して、リズミカルに動ける体作りを目指し、表現性・感受性を豊かにし、社会性・協調性を養うことを理念としています。平日は週1回ベース、西高祭前は連日ハードに練習。例年、新入生歓迎会のステージ発表や西高祭オープニングステージ発表・有志発表に出演しています。

映画研究同好会

映画鑑賞後、その映画についての批評を行うことが活動の中心です。

その他の活動

'10 国際生物学オリンピック(韓国) 金メダル 1名
'12 国際化学オリンピック(トルコ) 銀メダル 1名

CURRICULUM

「やることはやる、やれるだけやる」西高生、勉強の極意

めざす生徒像

1. 自ら考え、判断し、行動できる自律の精神を身に付けた生徒
2. 高い知性、叡智を身に付けた感性豊かで創造性に富む生徒
3. 高いレベルで体、徳、知のバランスのとれた生徒

三年間の学習指導

●**1年生**　入学してまもなく生徒には「シラバス（授業概要）」を配付。高校で学ぶ教科・科目のガイダンスを行います。3年間を見通した学習計画を1年生の段階から立てます。まずは、授業の予習・復習、家庭学習の習慣をしっかりと身に付けます。

●**2年生**　将来の進路希望に応じた、教科・科目選択授業を行います。毎日の授業を中心に、計画的な学習を進めます。大切なのは「知的好奇心を高めること」「自分で課題を見つけること」です。

●**3年生**　進路希望に応じて文型と理型に分かれます。1・2年の時に身に付いた基礎が花開き、学ぶ喜びを最も味わえる時期です。入試のための実戦的な勉強はもちろん、時には大学レベルに踏み込んで、高度な知識の習得を目指します。

学習

【授業第一・授業優先主義】

◉1年間を2学期に分け（前期・後期）1週間に32時間の授業を実施しています。

◉授業を一番に位置づけており、チャイムと同時にスピーディーでハイレベルな授業が展開されています。その中で最大限の努力をし、理解を深めていくためにも、毎日の予習復習の学習習慣が大切です。平均平日3時間（休日5時間）を目標に、家庭学習を習慣化していきます。

【学力向上に向けて】

◉数学・英語では、週末課題・単元テストを実施し、基礎の定着を図ります。

◉朝の自習プリントの配付や、放課後の自習室の開放を行っています。

◉「Study News（学習通信）」を発行し、学習の進め方・試験範囲・試験の対策などの各種学習資料を提供しています。

講習

土曜日には土曜講習を1・2年生が一期3回、年間4期実施。夏休みには夏期講習8日間（3年生は12日間）、冬休みには冬期講習10日間行います。1年生では英・数・国の3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民も実施します。このほか、春期講習、2・3年生の期間講習、3年生の入試直前講習、2次対策講習、小論文講習など、実戦力を養成するための体制を整えています。

試験

定期考査（年4回）と、課題確認テスト（年3回）、実力テスト（3年生対象年1回）があります。校外模試を受けて、自分の学習の到達度を確認することも大切です。実力テストや校外模試では、結果を細かく分析したデータが出ます。各教科からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路を明確にしていきます。

【定期考査】
6月、9月、11月、2月の年4回実施。授業の理解度を確認します。

【課題確認テスト】
1・2年生を対象に4月、8月、1月の年3回実施。長期休業中の学習状況と既習事項の理解度・達成度を確認します。

【実力テスト】
3年生を対象に10月に実施。大学入試での記述力を測定し、校内における自分の力を確認します。

【校外模試】
全国レベルで自分の実力を確かめます。
1年生～総合学力テスト（7月、11月、1月）、ハイレベル模試
2年生～総合学力テスト（7月、11月、1月）、センター対策模試（2月）
3年生～マーク模試、記述対策模試、センター対策模試、大学別模試（毎月1～2回）
*2・3年生対象に小論文模試も実施

教育課程

◉1・2年生で、英語・数学・国語の基礎・基本を確実に身に付けます。
◉文系進学希望者は、大学での専門教育に備えて日本史・世界史・地理・倫理・政経の全分野を学習できます。
◉理系進学希望者は、大学での専門教育に備えて、物理・化学・生物の理科3分野を学習できます。
◉3年生では、類型及び多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じたより深い学習を行います。

*科目上の目盛りは週あたりの時間数を表します。点線囲み部分は選択教科なので、興味や進路志望に従って選択します。
*この他、教科・科目に加えて各学年とも「LHR」が1単位ずつあります。また、「総合的な学習の時間」は週時間に位置づけず、年間を通して実施しています。

1年生

時間	科目
1–5	国語総合
6–7	倫理
8–13	SS数学Ⅰ
14–15	化学基礎
16–17	生物基礎
18–20	体育
21	保健
22–23	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ（選択）
24–26	コミュニケーション英語Ⅰ
27–28	英語表現Ⅰ
29–30	家庭基礎
31	社会と情報
32	SS情報科学

2年生

時間	科目
1–2	現代文B
3–5	古典B
6–7	世界史A
8–9	日本史A／地理A（選択）
10–11	政治経済
12–13	探求世界史／探求日本史／探求地理／SS化学（選択）
14–18	SS数学Ⅱ
19–22	SS地学・探究生物化学／SS物理／SS物理生物（選択）
23–24	体育
25	保健
26	音楽表現／美術表現／書道表現（選択）
27–30	コミュニケーション英語Ⅱ
31–32	英語表現Ⅱ

3年生　文型

時間	科目
1–3	現代文B
4–5	古典B
6–7	古典読解
8–11	世界史B／日本史B／地理B（選択）
12–15	世界史研究／地理研究／日本史研究／時事問題研究+倫理研究（選択）
16–18	発展数学Ⅰ／応用英語
19–20	数学課題探求／数学応用／音楽Ⅱ／美術Ⅱ／書道Ⅱ／生活の書／ライフアート／音楽実技（選択）
21–24	化学研究／生物研究／地学研究から2科目（選択）
25–26	体育
27–30	英語講読
31–32	英語表現Ⅱ

3年生　理型

時間	科目
1–3	現代文B
4–5	古典B
6–9	世界史研究／地理研究／日本史研究／時事問題研究+倫理研究（選択）
10–16	数学Ⅲ
17–20	物理／生物（選択）
21–24	化学
25–26	体育
27–30	SS英語
31–32	英語表現Ⅱ

SCHEDULE

入学者選抜について

【募集人員】320名

一般入試　入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。
※本校は「学校裁量問題」選択校です。

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜　**募集人員の70%程度**
- 学習点を重視した選抜　**学力点：学習点＝4：6 募集人員の15%程度**
- 学力点を重視した選抜　**学力点：学習点＝10：0 募集人員の15%程度**

日課表

登　校	～8:25
SHR	8:25～8:35
1校時	8:40～9:30
2校時	9:40～10:30
3校時	10:40～11:30
4校時	11:40～12:30
昼休み	12:30～13:10
5校時	13:10～14:00
6校時	14:10～15:00
7校時	15:10～16:00
SHR	16:00～16:10

●月・金は6時間授業
●LHRは火の7校時

進路決定までのスケジュール

1年

学習習慣の形成
勉強の中心は授業です。日々の授業にしっかり集中するため、1日3時間を目標に家庭学習の習慣をつけていきます。

職業研究
自分にあった分野、仕事は何か。まずは職業を具体的に知ることからスタートします。

学問研究
希望する職業に就くには何を学べばいいのか、どのような学問があるのかを調べます。

科目選択
職業や学問分野についての理解をベースに、2年次の教科、科目を選択します。

大学研究
大学主催の体験入学、オープンキャンパスへの参加、研究室やゼミへの訪問を促しています。

インターンシップ
冬休みには、弁護士事務所・病院・テレビ局・JICA・海上保安庁など、実際の職場体験、見学も行います。

2年

文理選択
理科・地歴公民などを中心に、受験を意識した3年次の科目を選択します。

大学研究
1年次に調べた学問・職業への理解をさらに深め、大学、学部、学科を研究します。東大・京大などから大学教授を招いての、進路講演会を実施します。

大学探訪
大学の雰囲気を実感できる公開講座やオープンキャンパスに積極的に参加します。

3年

実戦的学習
1・2学年で身に付けた基礎力をベースに、入試問題に取り組んでいきます。

最終決断
受験も本番。あれこれ迷わず信じた道を突き進んでいきましょう。

中学生のみなさんへ

理科／西村 昇 先生
「覚悟はあるか」

西高のウェブページをみると、色々な行事の写真が多数掲載されています。みんなすごく楽しそうで、キラキラしてますよね。
でも、その裏でいろんなものと戦っているんですよ。「西高に入ったんだから北大ぐらいは受かってもらわないと」という親からのプレッシャー、「第一志望の大学はかえたくない」けど「部活は最後まで絶対続けたい」、でも「勉強する時間がとれない」現状からくる焦燥感、テスト・エンドレ地獄などなど…。
必要なのは、西高の荒波に揉まれる覚悟。それができたら飛び込もう。向こう岸でステキな仲間が待っています。

英語／佐々木 里恵 先生
「カラフルな西高生」

「西高生」とひとくくりにできないほど、西高生は多様性に富み、生き生きとしています。服装も、趣味嗜好も、進路もそれぞれです。でも我が道を行きながらも、多様性を受け入れ、「やるときはやる」のが西高生のよいところです。
この学校に赴任して5年目ですが、多様性に富んだ集団が、時に見せる団結力は目を見張るものがあります。最大の行事、学校祭では、各自が自分の役割を見つけてクラスに貢献し、友情を深めています。また、大学受験という孤独な戦いも、切磋琢磨できる仲間と支え合って、乗り越えています。
中学生の皆さん、西高にあなたの一色も加えてみませんか!

Event Calendar

何事にも一生懸命！これこそ西高実行精神

April 4

生徒会執行部やクラブの先輩が、
ユニークな企画で盛り上げます。

新入生オリエンテーション歓迎会

入学式

新入生を歓迎するのは、
オーケストラ部の荘厳な
ハレルヤ演奏。感動!

May 5

大会に備え、ゴールデン
ウィークに練習試合や
合宿を行うクラブも。

高体連大会

運動会

運動会前日の「お弁当スペシャル」。
全校生徒の前で好きな人にお弁当
をつくってほしいと告白します。

June 6

定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。「やるときはやる」の
西高実行精神を発揮しよう。

西高祭

パワーがみなぎるビッグイベント。
楽しむ時は思いっきり楽しむのが西高流。

July 7

August 8

体育大会

前期の最後を
締めくくる大会。
部活を引退した3年生も
久しぶりに燃えます。

炊事遠足

先生方の
バーベキューが大人気。
生徒がわんさか群がります。

オーケストラ部定期演奏会

September 9

定期考査Ⅱ

October 10

見学旅行（2年）

京都、奈良をめぐる4泊5日の旅。
忘れられない思い出になるはず。

November 11

センター試験（3年）

いよいよ受験がスタート。西高生は本番に
強いと定評があります。

December 12

定期考査Ⅲ

January 1

February 2

節　分

授業中の教室に、突然3年生
が乱入して豆やお菓子をまく、
謎の伝統行事。

March 3

卒業式

式が終わる直前にかかる、
卒業生の「ちょっと待った!」
コールも恒例。
笑いあり涙ありの卒業式。

宿泊研修（1年）

ニセコへ2泊3日の
スキー研修。

札幌西高校は昨年創立100周年を迎えました

2012年10月、札幌市民ホールで創立100周年記念式典が開催されました。
開幕は西高らしく、オーケストラ部による演奏からスタート。演奏曲は東京芸大1年（当時）太田 弦君による作曲で、二中・札夜中・西高の3つの校歌をモチーフにしたものでした。
校長式辞、協賛会長挨拶に続き、道教委教育長の祝辞をいただきました。
記念事業の目録が贈呈された後、功労者の表彰を行い、最後に生徒会長から感謝のことばがあり、式典参加者全員で校歌を四部合唱して終了しました。

記念事業協賛会の事業として、『Kitara』でOB・現役オーケストラの『記念演奏会』、市内のギャラリーで『輔仁会美術展・書道展』を開催しました。『百年の物語』と題した記念誌も発刊されました。
札幌西高校の現校舎の前庭は地域に開放された憩いの場となっていますが、卒業生の佐藤忠良氏のブロンズ像を中心にOB作家の彫刻作品が配置されています。この度新たに、本郷 新氏、山内壮夫氏のブロンズ像を加えるとともに、将来本校から輩出される芸術家の作品を設置する場所を1つ空けて、『西高プロムナード』として整備しました。さらに、道立高校では全道初の砂入り人工芝テニスコートの整備、300インチの電動スクリーンを体育館ステージに設置しました。

3年間で「自分なり」に考えてほしいこと。それは、「自由」の意味と価値。

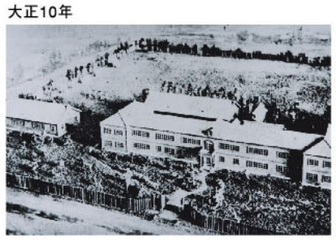
よく「自由な校風」といわれる西高。確かに制服も、厳しい校則もありません。
しかし、西高が自由だといわれるのは、そんな見かけだけの問題ではないはずです。
偏見や差別からの自由。固定観念や古い価値観からの自由。
自由という言葉には、もっと大きくて深い意味と価値があるのではないでしょうか。
どうか、自分を型にはめることなく、未来に大きな夢を描いてほしい。
いろんな壁にぶちあたりながら、「自由」とは何かを考えてほしい。
それが高校時代三年間の一番大きな課題かもしれません。

沿　革

1912（明治45）年	❖道内5番目の庁立中学として設立認可
1913（大正 2 ）年	❖札幌市北3条西18丁目に「北海道庁立第二札幌中学校」として開校
1915（大正 4 ）年	❖校名を「北海道庁立札幌第二中学校」と改称
1923（大正12）年	❖定時制課程の母体となる「札幌中等夜学校」が創立
1947（昭和22）年	❖校名を「北海道立札幌第二中学校」と改称
1948（昭和23）年	❖学制改革により「北海道立札幌第二高等学校」となる 「札幌中等夜学校」が夜間課程になる
1950（昭和25）年	❖公立高等学校再編成によって、学区制並びに男女共学実施と同時に校名を「北海道札幌西高等学校」と改称 ❖夜間課程が定時制課程に改称される
1962（昭和37）年	❖レンガ校舎が完成し、現在地（宮の森4条8丁目）に移転 創立50周年記念式典を挙行
1977（昭和52）年	❖創立65周年を記念して同窓会（輔仁会）が佐藤忠良作のブロンズ像「蒼穹」を寄贈
1995（平成 7 ）年	❖新校舎完成
2002（平成14）年	❖創立90周年記念式典を挙行 定時制課程創立80周年記念行事を挙行
2012（平成24）年	❖文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定 ❖創立100周年・定時制90周年記念式典を挙行

大正2年

大正10年



昭和37年

■校訓

「**自由**」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「**自律**」とは、その自由を支える精神
「**叡智**」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「**創造**」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。

■西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これに「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。

西高を支援する組織

輔仁会館

輔 仁会（ほじんかい）
卒業生等在学した者と、名誉会員の教職員で組織する同窓会です。会員のネットワーク構築と、西高の発展に寄与することを目的にしています。平成8年、輔仁会館を建設し西高に寄贈。多目的ホールとして活用されています。

財 団法人　西高会
西高の卒業生とPTAの役員らが、理事や評議員を務める西高会。西高山と呼ばれる学校林を札幌市内に3カ所、延べ11万6000坪所有。育英奨学金をはじめ、楽器補修や学校花壇整備、皆勤賞記念品などの支援をしています。

西 高後援会
西高の保護者と賛助会員による組織。教育活動の推進について後援しています。進路に対する特別委員会、補習や部活等に対する補助を行い、卒業生と学校のパイプ役機能も果たしています。

西 高PTA
生徒の学校、家庭、社会生活の改善と向上を目的に、保護者と職員により組織しています。広報、学年、教養委員会のほか、サークル活動があります。また、広報誌「ひろば」の作成やバス研修ツアー、講演会の企画など活発に活動しています。

西 高振興会（西高サポーターズクラブ）
PTA、西高卒業生の有志による組織。「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料を現役西高生の活動助成にあてています。本会のユニークな試みはマスコミにも取り上げられています。

札幌第二中学校　札幌夜間中学校　札幌第二高等学校　札幌西高等学校

北海道札幌西高等学校

〒064-8624　札幌市中央区宮の森4条8丁目1番地
TEL 011（611）4401　FAX 011（611）4403
http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp
（西高公式ホームページ）

【交通のご案内】
地下鉄東西線「西28丁目」下車　徒歩15分
ジェイ・アール北海道バス（西21、循環西21、琴40）
「西高校前」で下車　徒歩2分

校舎は"West"のWの字をデザイン化したものです。